

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年6月14日 (2018.6.14)

【公表番号】特表2017-514865(P2017-514865A)

【公表日】平成29年6月8日 (2017.6.8)

【年通号数】公開・登録公報2017-021

【出願番号】特願2016-566729(P2016-566729)

【国際特許分類】

C 07 D 401/14 (2006.01)

A 61 K 45/00 (2006.01)

A 61 K 31/497 (2006.01)

A 61 P 3/10 (2006.01)

A 61 P 27/02 (2006.01)

A 61 P 25/00 (2006.01)

A 61 P 13/12 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 9/12 (2006.01)

A 61 P 3/04 (2006.01)

A 61 P 3/06 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 17/02 (2006.01)

A 61 P 1/18 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 1/16 (2006.01)

A 61 P 1/04 (2006.01)

A 61 P 29/00 (2006.01)

A 61 P 19/10 (2006.01)

A 61 P 17/06 (2006.01)

A 61 P 17/00 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

【 F I 】

C 07 D 401/14 C S P

A 61 K 45/00

A 61 K 31/497

A 61 P 3/10

A 61 P 27/02

A 61 P 25/00

A 61 P 13/12

A 61 P 9/10 1 0 1

A 61 P 9/10

A 61 P 9/12

A 61 P 3/04

A 61 P 3/06

A 61 P 43/00 1 1 1

A 61 P 17/02

A 61 P 1/18

A 61 P 25/28

A 61 P 1/16

A 61 P 1/04

A 6 1 P 29/00  
 A 6 1 P 19/10  
 A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 17/00  
 A 6 1 P 37/08

## 【手続補正書】

【提出日】平成30年5月1日(2018.5.1)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

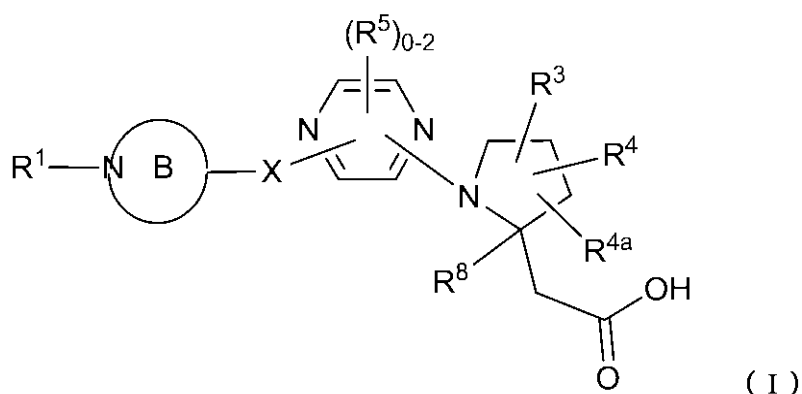
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (I) :

【化 1】



[ 式中 :

X は、結合手、O、S、NH、N (C<sub>1</sub> - 4 アルキル)、CH<sub>2</sub>、CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>、CH (C<sub>1</sub> - 4 アルキル)、OCH<sub>2</sub>、CH<sub>2</sub>O、OCH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>、および CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O より独立して選択され；

環 B は、独立して、炭素原子と、環 B において示される窒素原子と、N、O および S より選択される 0 - 1 個のさらなるヘテロ原子とを含有する 4 ないし 7 員の飽和ヘテロサイクルであり；環 B は 0 - 4 個の R<sup>2</sup> で置換され；

R<sup>1</sup> は、独立して、フェニル、ベンジル、ナフチル、あるいは炭素原子と、N、NR<sup>1</sup>、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリールであり；ここで該フェニル、ベンジル、ナフチルおよびヘテロアリールは、各々、0 - 3 個の R<sup>6</sup> で置換され；

R<sup>2</sup> は、各々、= O、OH、ハロゲン、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1</sub> - 6 アルキル、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1</sub> - 6 アルコキシ、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1</sub> - 4 ハロアルキル、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1</sub> - 4 ハロアルコキシ、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される - (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - C<sub>3</sub> - 6 カルボサイクル、および - (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - (炭素原子と、N、NR<sup>1 1</sup>、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリール) より独立して選択され；ここで該ヘテロアリールは 0 - 1 個の R<sup>1 2</sup> で置換され；

2 個の R<sup>2</sup> 基が 2 個の異なる炭素原子と結合する場合、それらは合わさって環 B を覆う 1 ないし 3 員の炭素原子のブリッジを形成してもよく；

2 個の R<sup>2</sup> 基が同一の炭素と結合する場合、それらはその結合する炭素原子と一緒に合わさって 3 ないし 6 員の炭素原子を含有するスピロ環を形成してもよく；

$R^3$  は、H、ハロゲン、CN、OH、 $CO_2H$ 、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-6}$  アルキル、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{2-6}$  アルケニル、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{2-6}$  アルキニル、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-6}$  ハロアルコキシ、 $-O(CH_2)_{1-2}$ 、 $O(CH_2)_{1-4}$ 、 $R^{10}$ 、 $OR^9$ 、 $SR^9$ 、 $C(O)OR^9$ 、 $CO_2R^9$ 、 $S(O)R^9$ 、 $SO_2R^9$ 、 $CONHR^9$ 、 $-(O)_n-(CH_2)_m-(R^{10})$  (0 - 2 個) で置換されるフェニル)、および  $-(O)_n-(CH_2)_m$  (炭素原子と、N、 $NR^{11}$ 、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリール) より独立して選択され；ここで該ヘテロアリールは 0 - 2 個の  $R^{10}$  で置換され；

$R^4$  および  $R^{4a}$  は、H、ハロゲン、 $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-6}$  アルコキシ、および  $-(CH_2)_m-C_{3-6}$  カルボサイクルより独立して選択され；

$R^5$  は、各々、ハロゲン、 $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-6}$  アルコキシ、 $C_{1-6}$  ハロアルキル、および  $C_{1-6}$  ハロアルコキシより独立して選択され；

$R^6$  は、各々、ハロゲン、OH、 $C_{1-4}$  アルキルチオ、CN、 $SO_2(C_{1-2}$  アルキル)、 $N(C_{1-4}$  アルキル)<sub>2</sub>、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $R^7$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-8}$  アルキル、 $R^7$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-6}$  アルコキシ、 $-(O)_n-(CH_2)_m-(R^7)$  (0 - 2 個) で置換される  $C_{3-10}$  カルボサイクル)、および  $-(CH_2)_m$  (炭素原子と、N、 $NR^{11}$ 、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリール) より独立して選択され；ここで該ヘテロアリールは 0 - 2 個の  $R^7$  で置換され；

$R^7$  は、各々、ハロゲン、OH、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{2-4}$  アルケニル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  アルキルチオ、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $SCF_3$ 、CN、 $NO_2$ 、 $NH_2$ 、 $NH(C_{1-4}$  アルキル)、 $N(C_{1-4}$  アルキル)<sub>2</sub>、 $SO_2(C_{1-2}$  アルキル)、およびフェニルより独立して選択され；

$R^8$  は、H および  $C_{1-4}$  アルキルより独立して選択され；

$R^9$  は、各々、 $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-6}$  アルキル、および  $R^{10}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  ハロアルキルより独立して選択され；

$R^{10}$  は、各々、CN、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $CO_2(C_{1-4}$  アルキル)、 $SO_2(C_{1-4}$  アルキル)、およびテトラゾリルより独立して選択され；

$R^{11}$  は、各々、H、 $C_{1-4}$  アルキルおよびベンジルより独立して選択され；

$R^{12}$  は、各々、OH、ハロゲン、CN、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $CO_2(C_{1-4}$  アルキル)、およびテトラゾリルより独立して選択され；

m は、各々、独立して 0、1、または 2 であり；および

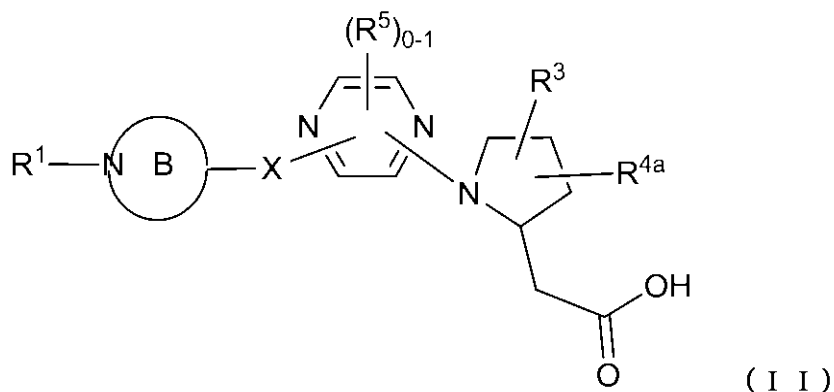
n は、各々、独立して 0 または 1 である]

で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

#### 【請求項 2】

$R^4$  が水素であり、 $R^8$  が水素である請求項 1 の式 I で示される化合物であって、さらに式 (II)：

## 【化 2】



[ 式中 :

X は、O、N (CH<sub>3</sub>)、CH<sub>2</sub>、CH<sub>2</sub>O、および CH<sub>2</sub>CH<sub>2</sub>O より独立して選択され ;

環 B は、独立して、炭素原子と、環 B において示される窒素原子とを含有する 4 ないし 7 員の飽和ヘテロサイクルであり ; ここで該環 B は 0 - 4 個の R<sup>2</sup> で置換され ;

R<sup>1</sup> は、独立して、フェニル、ベンジル、ナフチル、あるいは炭素原子と、N、NR<sup>1</sup>、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリールであり ; ここで該フェニル、ベンジル、ナフチルおよびヘテロアリールは、各々、0 - 3 個の R<sup>6</sup> で置換され ;

R<sup>2</sup> は、各々、=O、OH、ハロゲン、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 4</sub> アルキル、R<sup>1 2</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 4</sub> アルコキシ、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルキル、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルコキシ、およびベンジルより独立して選択され ;

2 個の R<sup>2</sup> 基が 2 個の異なる炭素原子と結合する場合、それらは合わさって環 B を覆う 1 ないし 3 員の炭素原子のブリッジを形成してもよく ;

2 個の R<sup>2</sup> 基が同一の炭素と結合する場合、それらはその結合する炭素原子と一緒に合わさって 3 ないし 6 員の炭素原子を含有するスピロ環を形成してもよく ;

R<sup>3</sup> は、R<sup>1 0</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 6</sub> アルキル、R<sup>1 0</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 6</sub> アルコキシ、R<sup>1 0</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 4</sub> ハロアルキル、および R<sup>1 0</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 4</sub> ハロアルコキシ、および - O (CH<sub>2</sub>)<sub>1 - 2</sub> O (CH<sub>2</sub>)<sub>1 - 4</sub> R<sup>1 0</sup> より独立して選択され ;

R<sup>4 a</sup> は、H、ハロゲン、C<sub>1 - 4</sub> アルキル、C<sub>1 - 4</sub> アルコキシ、および - (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - C<sub>3 - 6</sub> カルボサイクルより独立して選択され ;

R<sup>5</sup> は、各々、ハロゲン、C<sub>1 - 6</sub> アルキル、C<sub>1 - 6</sub> ハロアルキル、C<sub>1 - 6</sub> アルコキシ、および C<sub>1 - 6</sub> ハロアルコキシより独立して選択され ;

R<sup>6</sup> は、各々、ハロゲン、OH、C<sub>1 - 4</sub> アルキルチオ、CN、SO<sub>2</sub> (C<sub>1 - 2</sub> アルキル)、N (C<sub>1 - 4</sub> アルキル)<sub>2</sub>、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルキル、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルコキシ、R<sup>7</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 8</sub> アルキル、R<sup>7</sup> (0 - 1 個) で置換される C<sub>1 - 4</sub> アルコキシ、- (O)<sub>n</sub> - (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - (R<sup>7</sup> (0 - 2 個) で置換される C<sub>3 - 6</sub> カルボサイクル)、- (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - (R<sup>7</sup> (0 - 2 個) で置換されるナフチル)、および - (CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub> - (炭素原子と、N、O および S より選択される 1 - 4 個のヘテロ原子とを含有する 5 ないし 10 員のヘテロアリール) (ここで該ヘテロアリールは 0 - 2 個の R<sup>7</sup> で置換される) より独立して選択され ;

R<sup>7</sup> は、各々、ハロゲン、OH、C<sub>1 - 4</sub> アルキル、C<sub>2 - 4</sub> アルケニル、C<sub>1 - 4</sub> アルコキシ、C<sub>1 - 4</sub> アルキルチオ、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルキル、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルコキシ、SCF<sub>3</sub>、CN、NO<sub>2</sub>、NH<sub>2</sub>、NH (C<sub>1 - 4</sub> アルキル)、N (C<sub>1 - 4</sub> アルキル)<sub>2</sub>、SO<sub>2</sub> (C<sub>1 - 2</sub> アルキル)、およびフェニルより独立して選択され ;

R<sup>1 0</sup> は、各々、CN、C<sub>1 - 4</sub> アルコキシ、C<sub>1 - 4</sub> ハロアルコキシ、CO<sub>2</sub> (C<sub>1 - 4</sub> アルキル)、SO<sub>2</sub> (C<sub>1 - 4</sub> アルキル)、およびテトラゾリルより独立して選択さ

れ；

$R^{1\ 1}$  は、各々、H、 $C_{1-4}$  アルキル、およびベンジルより独立して選択され；

$R^{1\ 2}$  は、各々、ハロゲン、CN、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $CO_2$  ( $C_{1-4}$  アルキル)、およびテトラゾリルより独立して選択され；

m は、各々独立して、0、1、または2であり；および

n は、各々独立して、0または1である]

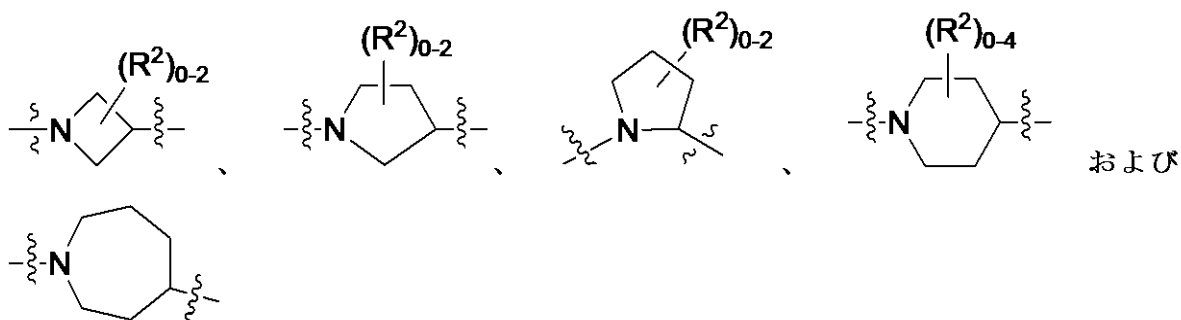
で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

【請求項3】

請求項1または2に記載の式(I)または(II)で示される化合物であって、ここで

環Bが：

【化3】



より独立して選択され；

$R^1$  が、独立して、 $R^6$  (0 - 3 個) で置換されるフェニル、または  $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるヘテロアリールであり；ここで該ヘテロアリールが、フラニル、オキサゾリル、チアゾリル、ピラゾリル、オキサジアゾリル、ピリジニル、ピリミジニル、およびピラジニルより選択され；

$R^2$  が、各々、OH、ハロゲン、CN (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、ベンジル、およびテトラゾリルメチルより独立して選択され；

$R^3$  が、 $R^{1\ 0}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  アルキル、 $R^{1\ 0}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  アルコキシ、 $R^{1\ 0}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  ハロアルキル、および  $R^{1\ 0}$  (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  ハロアルコキシより独立して選択され；

$R^{4\ a}$  が、H、ハロゲン、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、および  $C_{3-6}$  シクロアルキルより独立して選択され；

$R^6$  が、各々、ハロゲン、 $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $C_{1-4}$  アルキル (0 - 2 個) で置換される  $C_{3-6}$  シクロアルキル、 $C_{1-4}$  アルキル (0 - 2 個) で置換される  $C_{5-6}$  シクロアルケニル、およびベンジルより独立して選択され；および

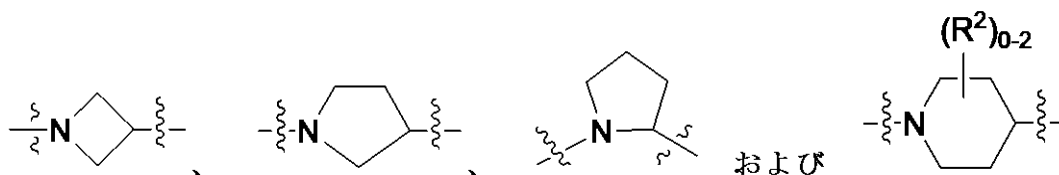
$R^{1\ 0}$  が、各々、CN、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $CO_2$  ( $C_{1-4}$  アルキル)、およびテトラゾリルより独立して選択される、化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれか一項に記載の式(I)または(II)で示される化合物であって、ここで：

環Bが、

## 【化 4】



より独立して選択され；

$R^1$  が、各々独立して、 $R^6$  (0 - 3 個) で置換されるフェニル、 $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるピリジニル、 $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるピラジニル、 $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるピリミジニル、または  $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるチアゾリルであり；および

$R^2$  が、各々、ハロゲン、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、およびテトラゾリルメチルより独立して選択される、化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

## 【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に記載の式 (I) または (II) で示される化合物であって、ここで：

$R^1$  が、各々独立して、 $R^6$  (0 - 3 個) で置換されるフェニル、または  $R^6$  (0 - 2 個) で置換されるピリジニルであり；

$R^3$  が、各々、 $C_{1-4}$  アルコキシ (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ (0 - 1 個) で置換される  $C_{1-4}$  アルコキシ、および  $C_{1-4}$  ハロアルキルより独立して選択され；および

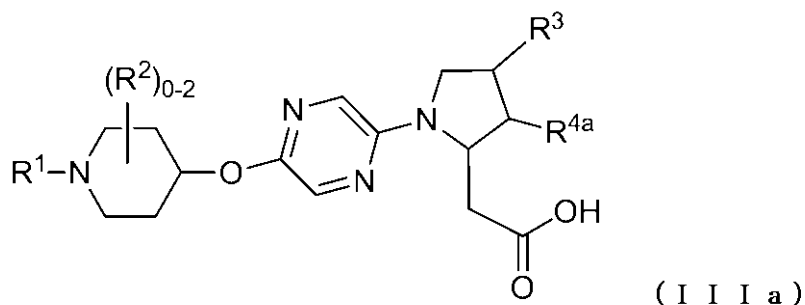
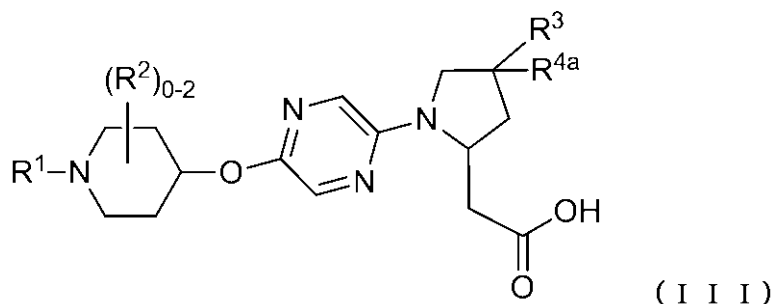
$R^6$  が、各々、ハロゲン、 $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、 $C_{1-4}$  ハロアルコキシ、 $C_{1-4}$  アルキル (0 - 2 個) で置換される  $C_{3-6}$  シクロアルキル、 $C_{1-4}$  アルキル (0 - 2 個) で置換される  $C_{5-6}$  シクロアルケニル、およびベンジルより独立して選択される、

化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

## 【請求項 6】

式 (III) または (III a)：

## 【化 5】



[ 式中：

$R^1$  は、各々独立して、 $R^6$  ( 0 - 3 個 ) で置換されるフェニル、または  $R^6$  ( 0 - 2 個 ) で置換されるピリジニルであり；

$R^2$  は、各々、ハロゲン、 $C_{1-4}$  アルキル、および  $C_{1-4}$  アルコキシより独立して選択され；

$R^3$  は、各々独立して、 $C_{1-4}$  アルコキシ ( 0 - 1 個 ) で置換される  $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ ( 0 - 1 個 ) で置換される  $C_{1-4}$  アルコキシ、および  $C_{1-4}$  ハロアルキルであり；

$R^{4a}$  は、各々、H、ハロゲン、 $C_{1-4}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、およびシクロプロピルより独立して選択され；

$R^5$  は、各々、ハロゲン、 $C_{1-4}$  ハロアルキル、および  $C_{1-6}$  アルコキシより独立して選択され；および

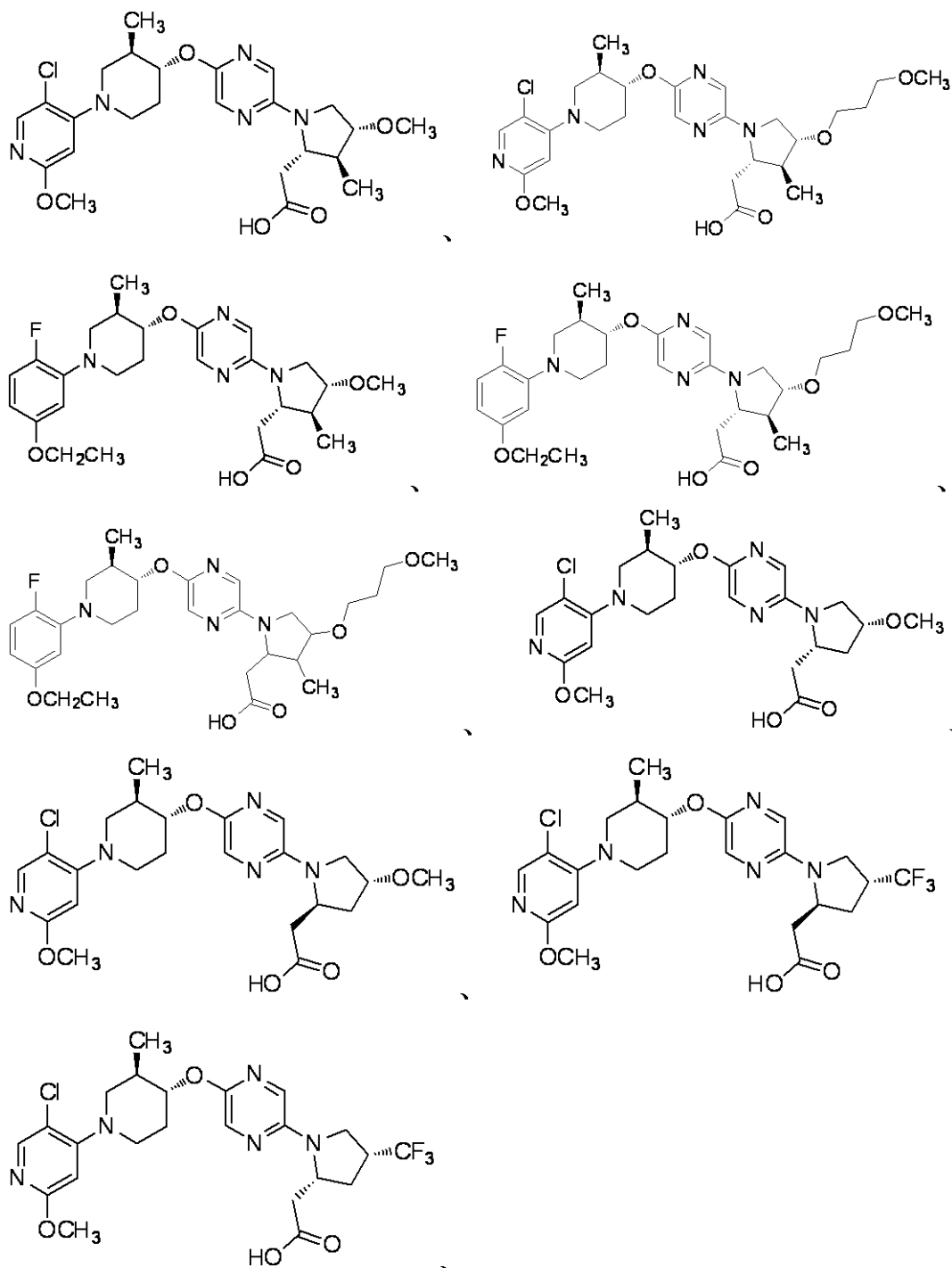
$R^6$  は、各々、ハロゲン、 $C_{1-6}$  アルキル、 $C_{1-4}$  アルコキシ、 $C_{1-4}$  アルキル ( 0 - 2 個 ) で置換される  $C_{3-6}$  シクロアルキル、および  $C_{1-4}$  アルキル ( 0 - 2 個 ) で置換される  $C_{5-6}$  シクロアルケニルより独立して選択される]

で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩、多形体または溶媒和物。

## 【請求項 7】

構造式：

## 【化 6】



または

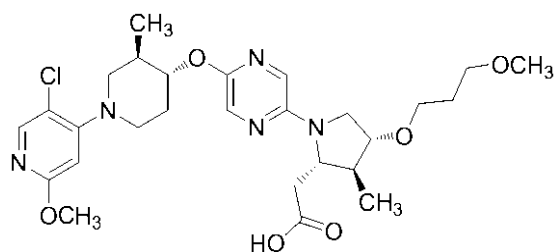
で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 8】

構造式：



## 【化 7】

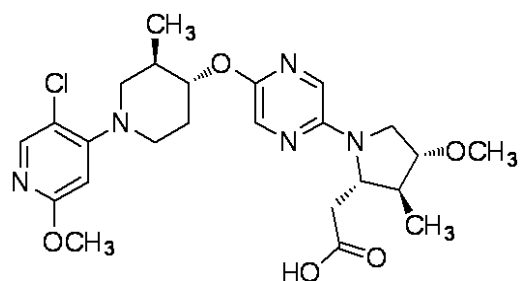


で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 9】

構造式：

## 【化 8】

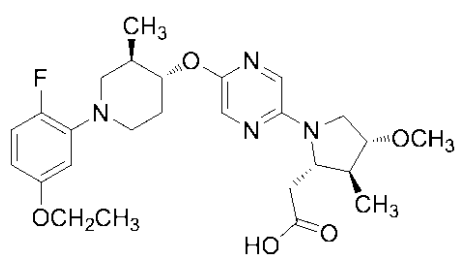


で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 10】

構造式：

## 【化 9】

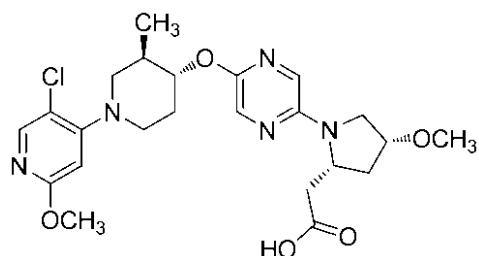


で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 11】

構造式：

## 【化 10】

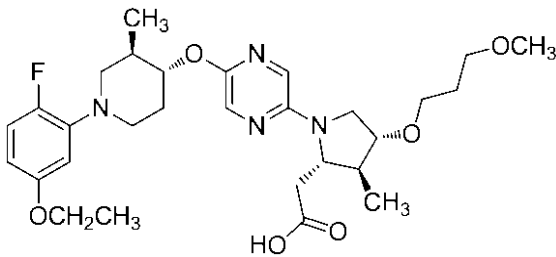


で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 12】

構造式：

## 【化 1 1】

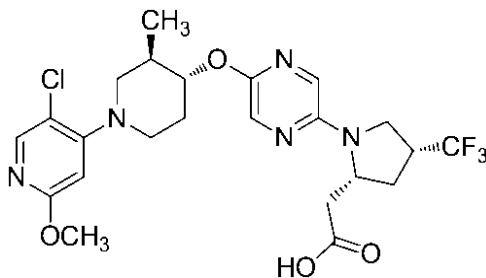


で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 1 3】

構造式：

## 【化 1 2】



で示される化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体、医薬的に許容される塩。

## 【請求項 1 4】

医薬的に許容される担体と、請求項 1 ないし 1 3 のいずれか一項に記載の化合物、あるいはその立体異性体、互変異性体または医薬的に許容される塩とを含む、医薬組成物。

## 【請求項 1 5】

抗糖尿病薬、抗高血糖薬、抗高インスリン血症剤、抗網膜症薬、抗神経障害薬、抗腎症薬、抗アテローム性動脈硬化薬、抗虚血薬、抗高血圧薬、抗肥満薬、抗脂質異常薬、抗高脂血症薬、抗高トリグリセリド血症薬、抗高コレステロール血症薬、抗再狭窄薬、抗腎臓病薬、脂質低下薬、食欲減退薬および食欲抑制薬より選択される 1 または複数の他の適切な治療薬をさらに含む、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 6】

ジペプチジルペプチダーゼ - I V 阻害剤および / またはナトリウム - グルコーストランスポーター - 2 阻害剤をさらに含む、請求項 1 4 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 7】

療法にて用いるための、請求項 1 ないし 1 3 のいずれか一項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

## 【請求項 1 8】

糖尿病、高血糖、耐糖能異常、妊娠性糖尿病、インスリン抵抗、高インスリン血症、網膜症、神経障害、腎症、糖尿病性腎疾患、急性腎損傷、心腎臓症候群、急性冠症候群、創傷治癒の遅れ、アテローム性動脈硬化症およびその後遺症、異常な心機能、鬱血性心不全、心筋虚血、発作、代謝性症候群、高血圧症、肥満、脂肪肝疾患、ジスリペミア、脂質異常症、高脂血症、高トリグリセリド血症、高コレステロール血症、低高密度リポタンパク質 (HDL)、高低密度リポタンパク質 (LDL)、非心虚血、膵炎、脂質障害、神経変性疾患、認識機能障害、認知症、ならびに NASH (非アルコール性脂肪性肝炎)、NAFLD (非アルコール性脂肪肝疾患)、肝硬変などの肝臓疾患、潰瘍性結腸炎およびクローン病を包含する炎症性腸疾患、セリアック病、骨粗鬆症、腎炎、乾癬、アトピー性皮膚炎および皮膚炎症の予防、調節または治療にて用いるための請求項 1 ないし 1 3 のいずれか一項に記載の化合物を含む、医薬組成物。

## 【請求項 1 9】

医薬組成物が、 1 または複数のさらなる治療薬と同時に、別々に、または連続して使用される、請求項 1 7 または請求項 1 8 に記載の医薬組成物。